

つもより少し遅いような気がした。
 彼岸花は、当地に嫁いで初めて知った。

飾りましようか？」と言つと、即座に「やめて」と言われた。
 彼岸花は、球根をほじめ

内飾つとしたが、女性利用者に「それはアカシ」と言われていた。昔のものを思い出し、心の中でほくそ

され、おいしく食べられると言つと、フクフクするの
 (京都府南丹市)

ソロモン島の頭巾

長辻象平



温暖化では進まぬ「強大多発

日本にやって来る台風の強さや数が地球温暖化のせいで増している—という印象を多くの人が抱いているようだ。こうした思潮の中で「温暖化と台風の大規模は無関係」と主張すれば猛反発を買いかねない。

だが、意外かもしれないが、事実上「無関係」に近いのだ。まずは論より証拠、台風の強さの変化について気象庁の記録を見てみよう。

大型は温暖化前

気象庁のホームページには、上陸時の気圧が低い歴代トップ5を載せた「中心気圧が低い台風」の表がある。これを一瞥すると驚くだろう。すべてが前世紀の台風なのだ。

1961年の第二室戸台風(925hPa)を筆頭に2位は59年の伊勢湾台風

気候変動と台風

年の台風13号(930hPa)は、4位は51年のルース台風(935hPa)と続く。5位には54年から91年の間に上陸したいずれも940hPaの台風が6個並んで計10個。

34年の室戸台風(912hPa)や45年の枕崎台風(916hPa)などの超大型を忘れてはならないが、それらは含まれていない。理由は気象庁の台風統計が1951年以降なので、参考記録扱いになっているためだ。

こうしたデータに基づく

と地球温暖化が問題になっている現代よりも、それ以前の時代において、中心気圧が低くて強い台風が多発していた実態が見えてくるのだ。

1950年は突出10個

温暖化と台風の関係については、興味深い別の研究が存在する。横浜国立大学教育学部の筆保弘徳教授らによる、1950年より古い時代に日本へ上陸した台風統計の復元だ。

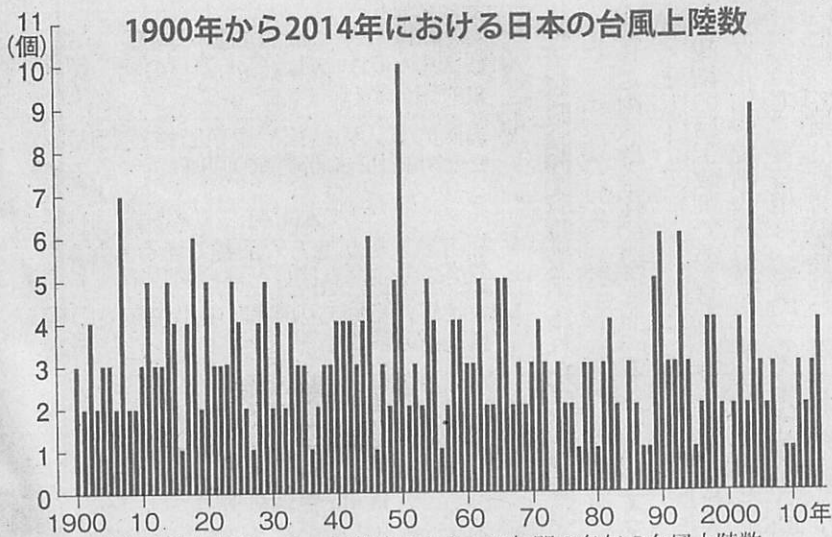
78年の気象衛星「ひまわり1号」登場まで、台風の海上の進路は船舶での観測を頼りに推定されていたため精度に粗さがあった。

また、台風の定義にも変更があり、現在の定義に落

ち着いたのは51年。そうしたことから、それ以前のデータは統計として活用されずに眠っていたのだ。

1900年から50年までの熱帯低気圧の気圧や風向に関する資料の分析を通じて上陸地点を割り出すなどして日本への台風上陸を計数

した。この手法を以降の台風のデータにも適用したところ上陸数は気象庁差なく一致して確かめられた。



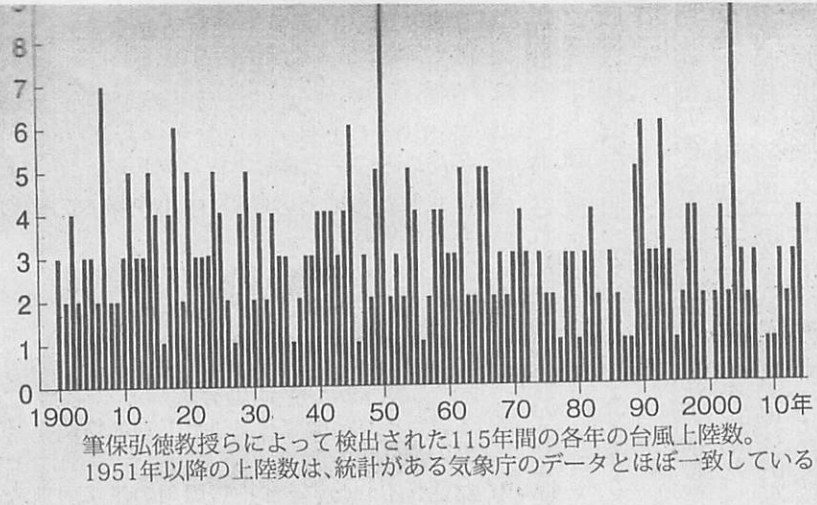
1900年から2014年における日本の台風上陸数

筆保弘徳教授らによって検出された115年間の各年の台風上陸数。1951年以降の上陸数は、統計がある気象庁のデータとほぼ一致している

少傾向も見られ気象庁の中心と筆保さんらのデータを合わせることも個数の増加ないことが得心

進まぬ「強大多発」

51年。そうし
それ以前のデ
して活用され
たのだ。
のグループは
1900年から50年までの
熱帯低気圧の気圧や風向に
関する資料の分析を通じて
上陸地点を割り出すなどし
て日本への台風上陸を計数



筆保弘徳教授らによって検出された115年間の各年の台風上陸数。
1951年以降の上陸数は、統計がある気象庁のデータとほぼ一致している

した。
この手法を1951年以
降の台風の数について
も適用したところ、各年の
上陸数は気象庁の統計と大
差なく一致して、有効性が
確かめられた。
上図のグラフは、筆保さ
んらの手法で把握された1
900年から2014年ま
で115年間にわたる日本
への台風上陸数の変遷だ。
従来の1951年以降の
部分だけでは2004年の
台風の多さが目立ち、近年
にかけて上陸数が増えつつ
あるかのような印象を受け
るのだが、1950年の上
陸数も10個で突出してお
り、全体では増加傾向も減
少傾向も見られない。
気象庁の中心気圧データ
と筆保さんらの上陸数デー
タを合わせると台風の大型
化も個数の増加も進んでい
ないことが得心されるはず
である。

二次利用することもあります。
【宛先】〒100-8649 日
本郵便銀座郵便局私書箱246号
産経新聞「朝の詩」係

気圧は有用尺度

20世紀前半の大気中二酸化
炭素濃度は300〜31
0ppm程度。現在の約410
ppmに比べると高くない。世
界の平均気温も平均海面水
温も今より低い。

にもかかわらず、20世紀
の前半に超大型台風の発生
がまとまっている原因や地
球温暖化の気配がなかった
時代と現代の間で上陸台風
の個数に差がないことの理
由については、台風学者の
筆保さんにとっても大きな
謎なのだ。

昔は測定技術が未熟で台
風の規模について過大評価
があったのでは、と疑う人
がいるかもしれない。
だが、筆保さんらは上陸
台風のカウントで、風速で
はなく気圧を基準にしてい
るため、そうした心配要素
は小さくなっている。

風速データは、測定精度
や観測場所の立地条件の変
化からくる影響を受けてい
る。それに比べ、気圧の測定
は風速ほどの影響を受けて
いないので、時代を超えた
台風強度の物差しには両者

を比較した場合、気圧の方
が適しているはずなのだ。

いまだ五里霧中

話は入り組むが、筆保さ
んは「近年、日本に上陸す
る台風で強いものの割合が
増えている」とみる。

根拠は115年間の平均
だと970ppm未満の「強
い」台風は、全体の30%だ
ったのが、90年代以降に増
え始めて2010年ごろか
ら50%に達していること
によるものだ。

現象論としては正しい
が、この規模の増加は19
00年や30年代後半に生じ
ているので、温暖化主因論
では説明が難しい。

しかも、強いとはいえ、
大相撲にたとえれば前頭上
位クラス。室戸台風や枕崎
台風などの大横綱級が温暖
化の気配もない時代に輩出
していた理由は全く計り知
れないままなのだ。

特殊解は得られても、全
般を統一的に説明可能な一
般解は、まだ五里霧中の状
況だ。複雑系現象の代表格
・台風研究の奥は深い。
次回回は11月4日掲載予定

◇投稿
へ。FAX
せず、spec
・テーマ
用分には

妥協はしない 私だけの男役

宝塚の男役時代。大好きな猫と遊び、リニ



訳ないことをしてしまいました
役でも工夫するのが楽しかった
たんです。

《宝塚の異端児と形容され、
年、当時最年少の26歳で月組
た。相手役は黒木瞳さんで、
若い、20代トップコンビの誕生
黒木さんは研2（入団2年）
抜擢されました。彼女の先輩
したから、私があからさまに妬
がうまういなくなってしまう
の中で、彼女はよく付いてきて
8学年下の黒木さんに、「並
ることを、あなたは今、でき
も選ばれた人間の宿命だから
公演後は毎日、反省会です。
ではなく、宝塚全体のトップに
それたことを言い、彼女も必
た。苦業を共にした黒木さん
《トップとして、目指して
を体現するため、細部にまで
役の内面研究は当たり前。
地」と呼ばれました。ただで
のですから、輪郭は大事。衣
え方は全く違います。シヨ
紅の色まで変えました。宝塚
人に、思う存分楽しんで
一切妥協しませんでした。